

十勝岳

1 概況

62-2 火口は高温の状態が続いていると推定されます。火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

2 噴煙の状況

62-2 火口の噴煙活動はやや活発な状態が続いており、噴煙の高さは火口縁上 100~200 m で推移しました。噴煙の活動に特に変化はみられていないことから、同火口の熱活動にも大きな変化はなく、高温の状態が続いていると推定されます。

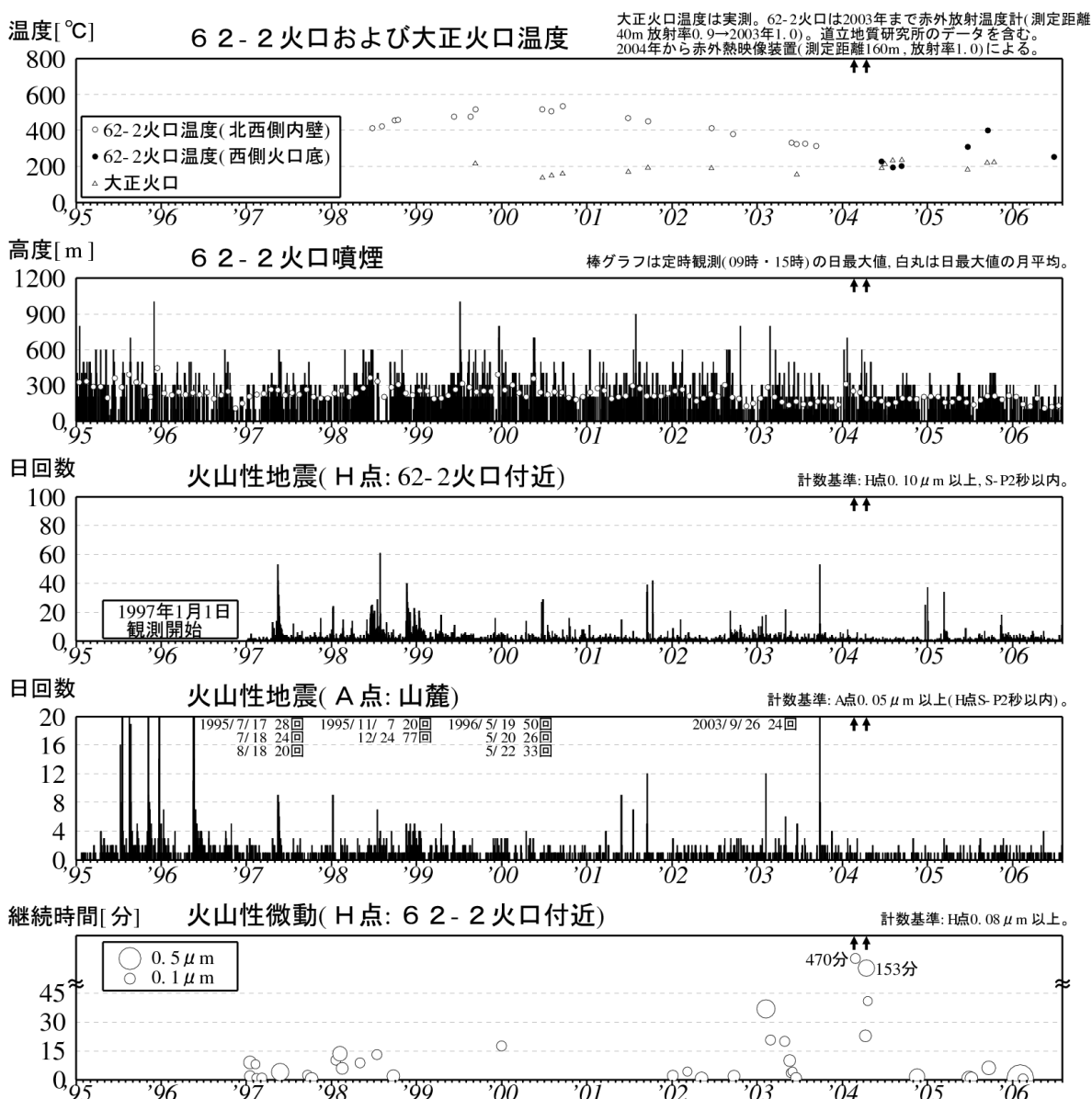


図1 十勝岳 最近の火山活動経過図 (1995年1月~2006年7月) ↑印はごく小規模な噴火

十勝岳の火山活動解説資料は気象庁の他に、北海道のデータも使用して作成しています。
本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています。(承認番号 平17総使、第503号)

3 地震および微動の発生状況

火山性地震は 31 日に 11 回と一時的に増加したほかは、1 日あたり 0~4 回と少ない状態で経過しました。震源はこれまでと同様、主にグラウンド火口周辺の浅い所 (山頂から深さ約 1km~3km 程度) に分布していました。火山性微動は観測されませんでした。

表 1 十勝岳 地震・微動の月回数 (H 点 : 火口付近の観測点 A 点 : 山麓の観測点)

2005~2006 年	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
地震回数H点	41	29	25	78	69	32	44	48	37	32	16	25
地震回数A点	13	2	7	14	9	6	8	10	4	12	3	6
微動回数H点	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0

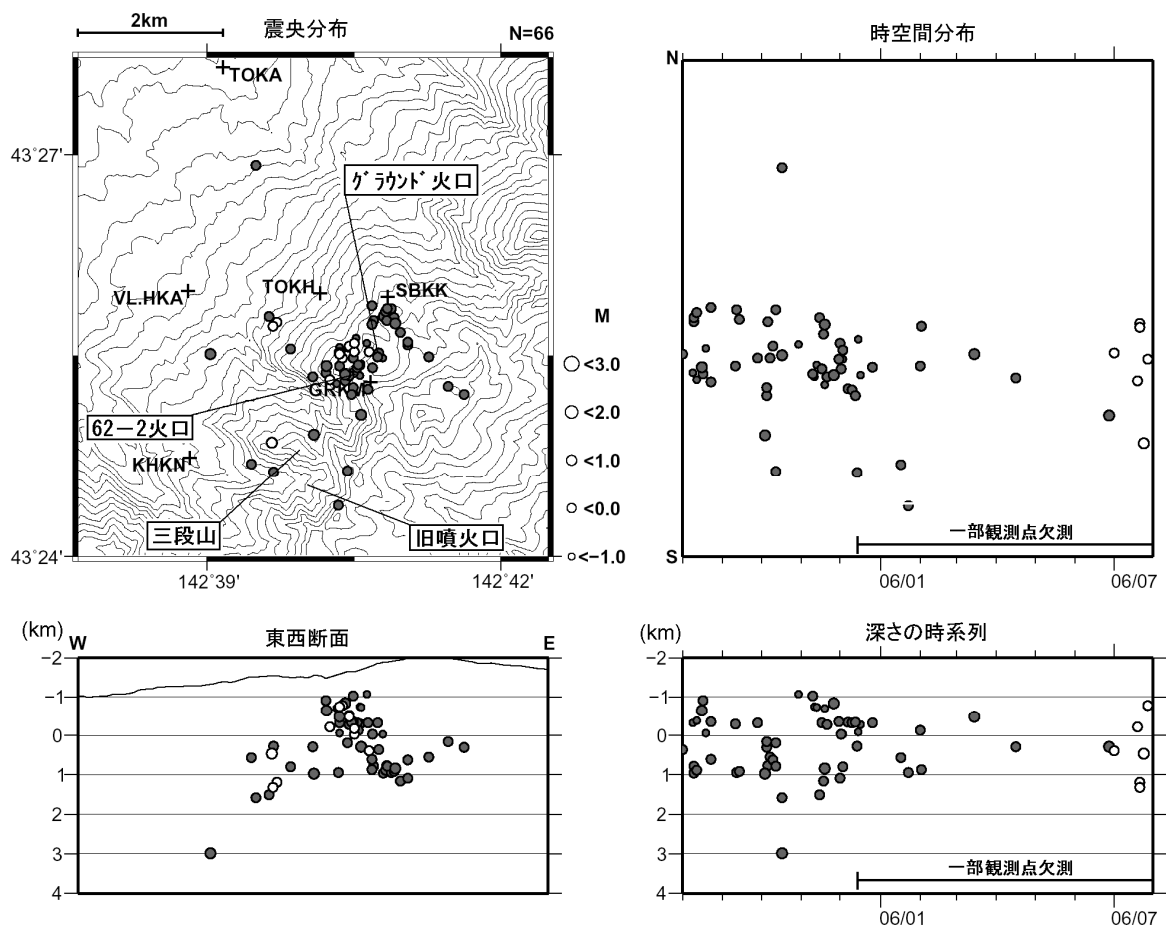


図 2 十勝岳の震源分布図 (丸印 : 震源、+印 : 地震観測点、気象庁と北海道のデータを使用)

※2005 年 12 月 19 日以降、一部観測点欠測のため震源決定能力が低下しています。

○印は今期間(2006 年 7 月)に求まった震源を示しています。

●印は前期間までの 11 ヶ月間(2005 年 8 月~2006 年 6 月)に求まった震源を示しています。

前期間の震源はグラウンド火口周辺の浅い所 (山頂から深さ約 1km~3km 程度) に集中し、三段山~旧噴火口周辺の浅い所 (山頂から深さ約 1km~3km 程度) にも分布しています。今期間に求まった震源も主にグラウンド火口周辺の浅い所に分布しています。

4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、火山活動に関連すると考えられる変動は観測されませんでした。

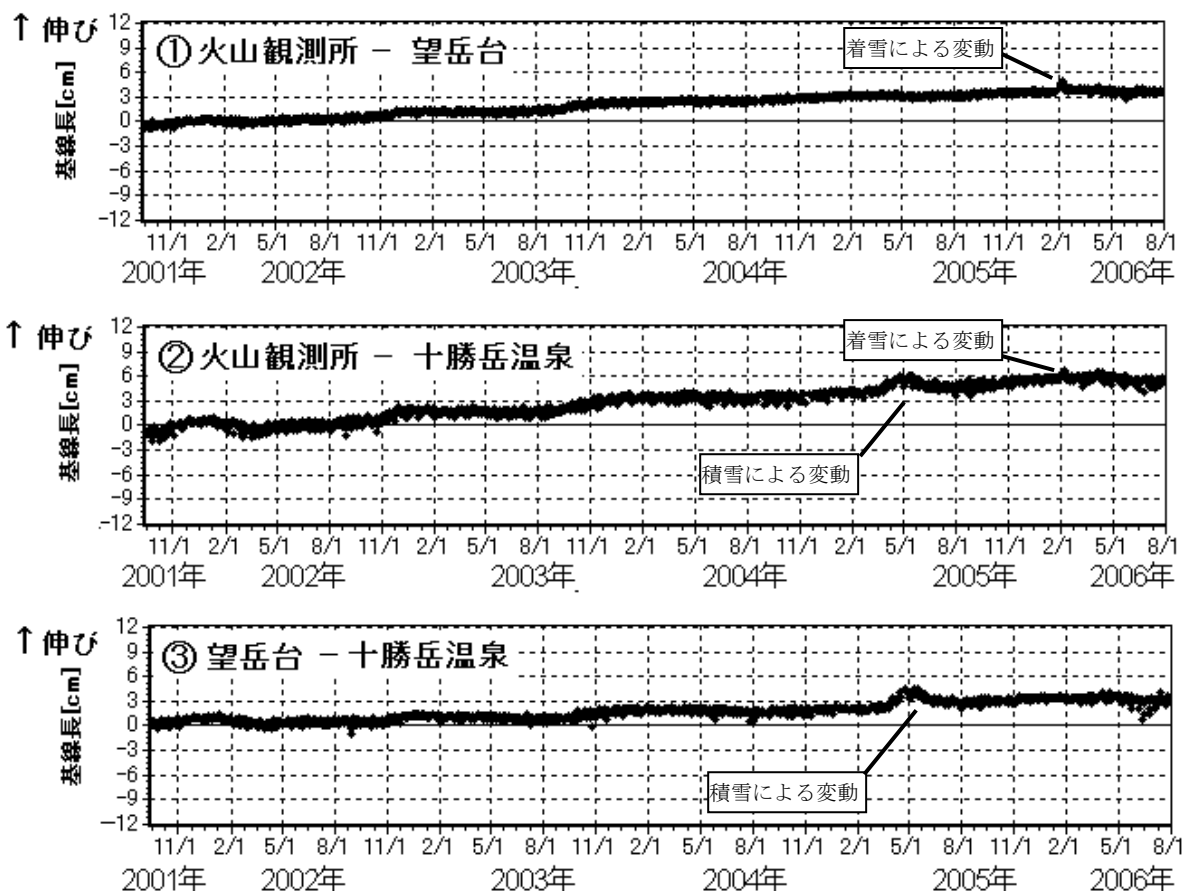


図3 十勝岳 基線長変化 (2001年9月13日~2006年7月31日)

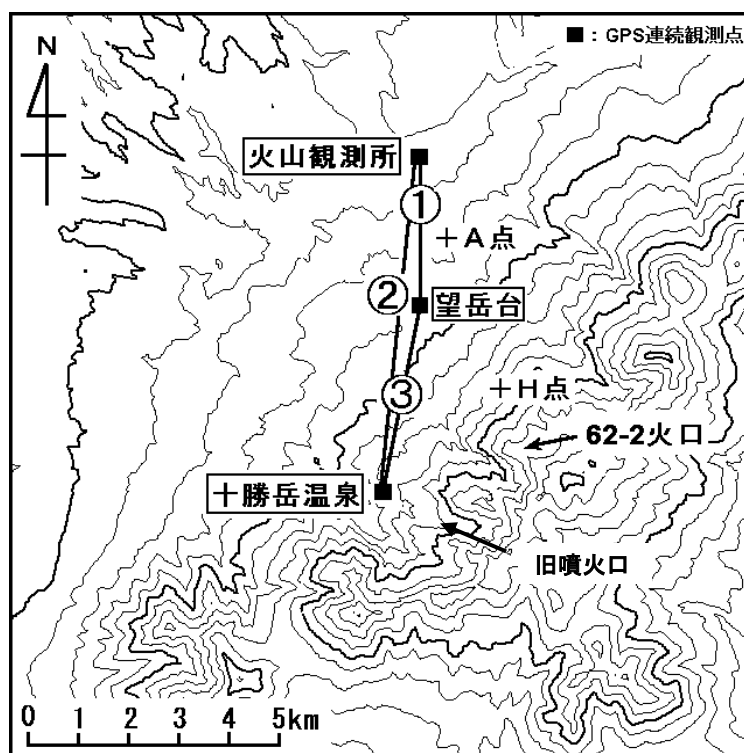


図4 十勝岳 GPS 観測点配置図